

取扱・組立て説明書

●このたびはお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用の際にこの取扱・組立て説明書をよくお読みいただき末永くご愛用いただけますようお願い申し上げます。
お読みになった後は、大切に保管して下さい。

安全にお使いいただくために(必ずお守り下さい)

●絵表示について●

●この取扱・組立て説明書及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して、誤った扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- パネルに寄りかかりますと、パネルが倒れ、ケガをする恐れがあります。
- パネルを組み立てたまま移動しないで下さい。パネルが倒れ、ケガをする恐れがあります。
- 傾斜や凹凸のある床で使用しますと、パネルがズレたり倒れて、ケガをする恐れがあります。
- 不要になった場合など、焼却処理をしないで下さい。有毒ガスなどが発生する恐れがあります。
- パネル単体での使用はおやめ下さい。必ずレイアウトに合わせた連結ポール、補助脚をご使用下さい。製品が破損したり、思わぬ事故の原因になります。



注意

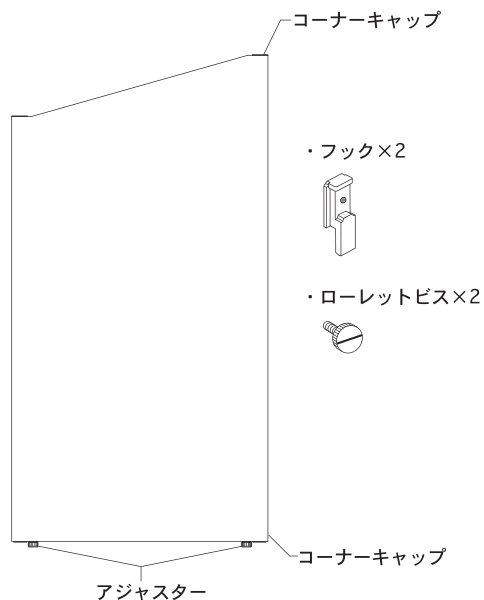
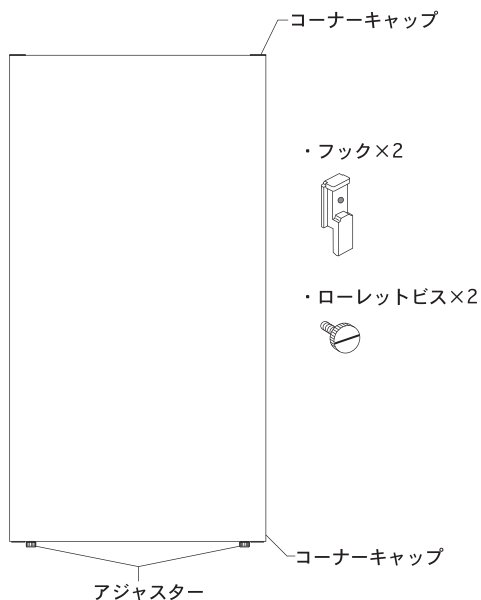
- 風の強い場所に設置しないで下さい。パネルが転倒してケガをすることがあります。
- 指定された部品以外を使用しないで下さい。製品が破損したり、ものが落下してケガをすることがあります。
- 暖房器具などに近づけて使用しないで下さい。火傷、製品の変形、火災の原因になることがあります。
- ビス類が緩んだまま使用しないで下さい。本体が壊れてケガをすることがあります。
- 製品を組み立て、分解・改造をしないで下さい。製品が故障したり、ケガをすることがあります。
- 専用オプション以外は、パネルにぶら下げるしないで下さい。パネルが転倒してケガをすることがあります。
- 連結穴、すき間などに指を入れないで下さい。ケガをすることがあります。
- 遊具代わりに使用しないで下さい。転倒してケガをすることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないで下さい。本体が壊れてケガをすることがあります。
- 用途以外では、使用しないで下さい。ケガをすることがあります。
- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実ににはめ込んで下さい。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。
- 組立手順に従い、ビスなどで確実に止め、組み立てて下さい。不十分ですと使用中に製品が破損し、ケガをする恐れがあります。

末永くお使いいただくために

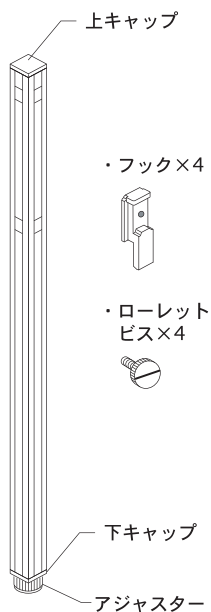
- 屋内でご使用下さい。屋外や水のかかるところなどでは使用しないで下さい。
- 直射日光およびストーブの熱は、商品の色・変形のもととなりますので避けて下さい。
- 使用中にボルトやビスの緩みによるガタツキが生じた時は、固く締め直してからご使用下さい。
- 有機溶剤など(アルコール・ベンジン・シンナー)をこぼすと、パネルや樹脂の色・変質・破損の原因となることがあります。
- この説明書をいつでも取り出せるように大切に保管して下さい。
- こまめに、メンテナンスしながらお使いいただくのが製品を長持ちさせる秘訣です。
- 本製品は木製品のため、木特有のにおいがあります。定期的に換気することをおすすめします。

各部の名称、部品一覧

パネル

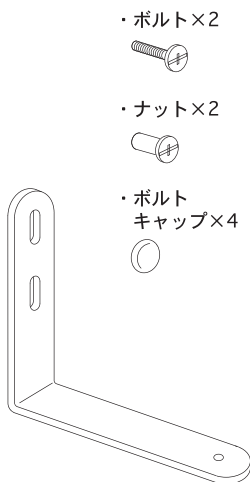


連結ポール

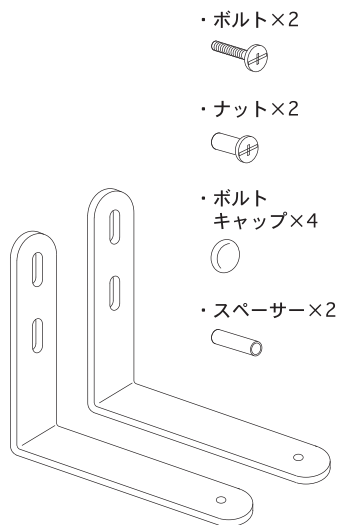


補助脚

○片側補助脚



○両側補助脚



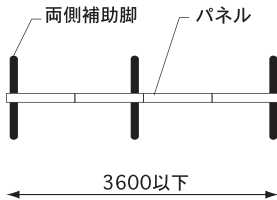
パネル組み立ての前に

パネルの選定、設置のご注意

●パネルの選定、設置の際には安全にご使用いただくため以下の点にご注意下さい。

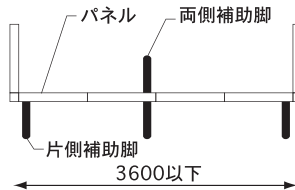
○直線レイアウトの場合

- ・直線連結の長さは3600mm以下。
- ・両側補助脚を両端とパネル2枚につき1個取付け。



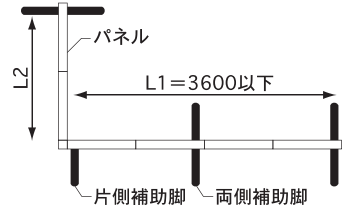
○コの字型レイアウトの場合

- ・直線連結の長さは3600mm以下。
- ・2枚以上直線連結されたパネル端部には両側補助脚が必要。
- ・コーナー外側には、パネル2枚につき1個の片側補助脚を取付け。



○L字レイアウトの場合

- ・直線連結の長さは3600mm以下。
- ・短い方(L2)が長い方(L1)の2分の1以上。
- ・2枚以上直線連結されたパネル端部には両側補助脚が必要。
- ・コーナー外側には、パネル2枚につき1個の片側補助脚を取付け。

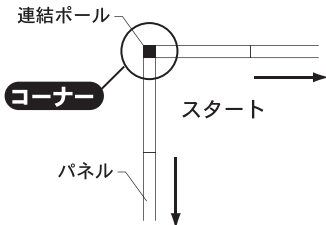


ポール連結のポイント

●ポール連結の際、下図の順序でパネルの連結を行って下さい。

○コーナー部から組立作業を行う。

- ・連結ポールを基点として、コーナー部から連結作業をスタートして下さい。
パネルが自立し次の作業が行いやすくなります。



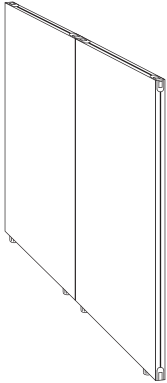
パネル組み立て方法



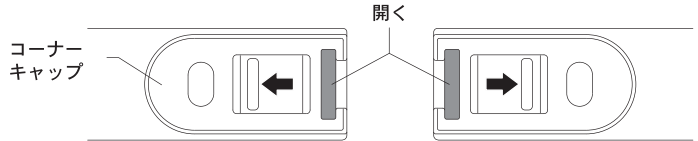
注意

- 組み立てるときは必ず周囲の安全を確認し、2名以上で行って下さい。パネルが転倒し、ケガをすることがあります。
- 必ず設置したい場所で組立てて下さい。完成後の移動で破損したり、ケガをすることがあります。
- 完成後は全てのビス、ボルトが確実に締まっているかどうかを確認して下さい。不十分ですと使用中に製品が破損して、ケガをすることがあります。

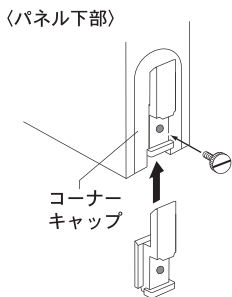
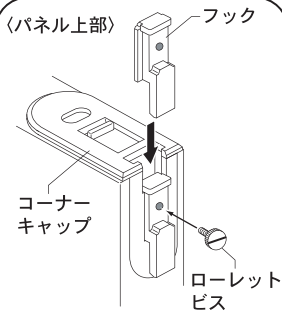
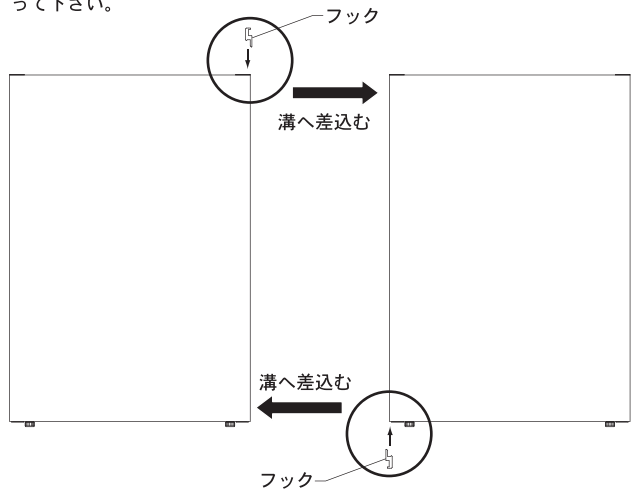
ストレート連結



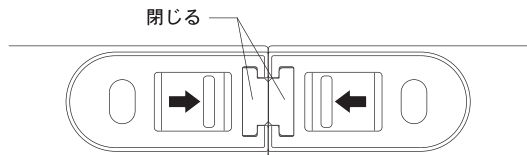
- ① パネル上のコーナーキャップのフタをスライドして開いて下さい。



- ② フックは隣り合うパネルの対角の位置へ取付を行います。コーナーキャップの溝へフックを入れ、ローレットビスで固定して下さい。
固定したフックを隣り合うパネルのコーナーキャップの溝へ差込んで連結を行って下さい。



- ③ パネル上部がツラに合わさったのを確認したのち、パネル上のコーナーキャップのフタをスライドして閉じて下さい。



注意

- 必ず作業は2名以上で行い、1名はパネルが転倒しないようしっかり支えて下さい。
- 連結溝へ指を入れないで下さい。ケガをすることがあります。

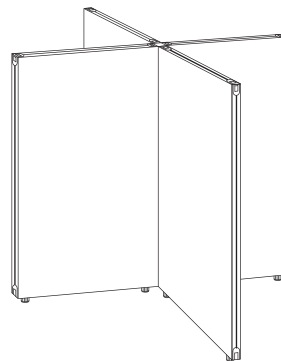
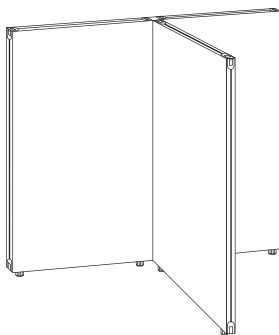
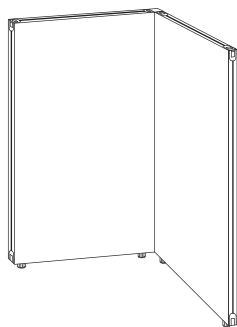
ポール連結（直角、T字、クロス連結）

● 直角、T字、クロス連結には「連結ポール」（別売り）が必要となります。

○ 直角連結

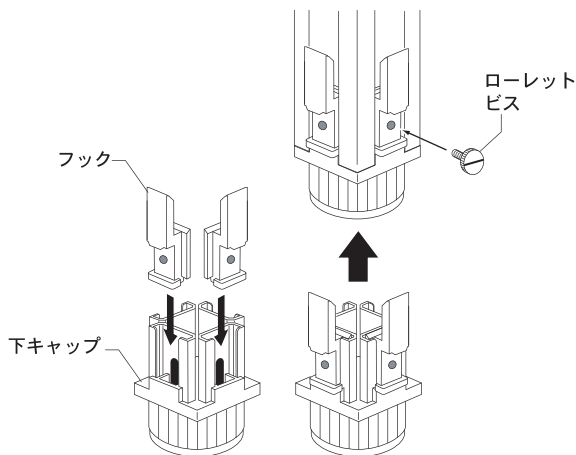
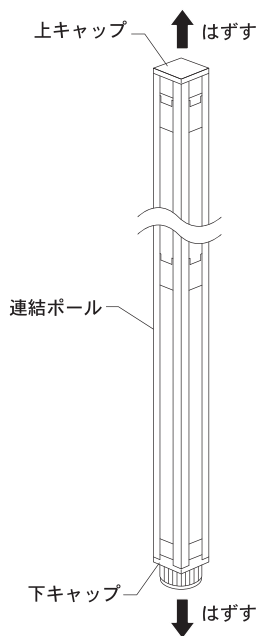
○ T字連結

○ クロス連結



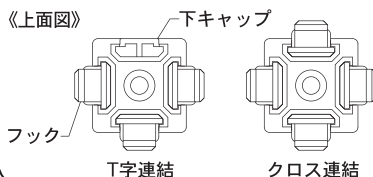
＜直角連結の場合＞

- ① 連結ポールの上キャップ、下キャップをはずします。 ② フックを二個用意し下キャップへ図のように差込みます。フックの付いた下キャップを連結ポール下部へ差込みローレットビスでフックと下キャップを固定して下さい。



T字、クロス連結の場合は、ポール下部へ取付ける下キャップを図のような形にして下さい。

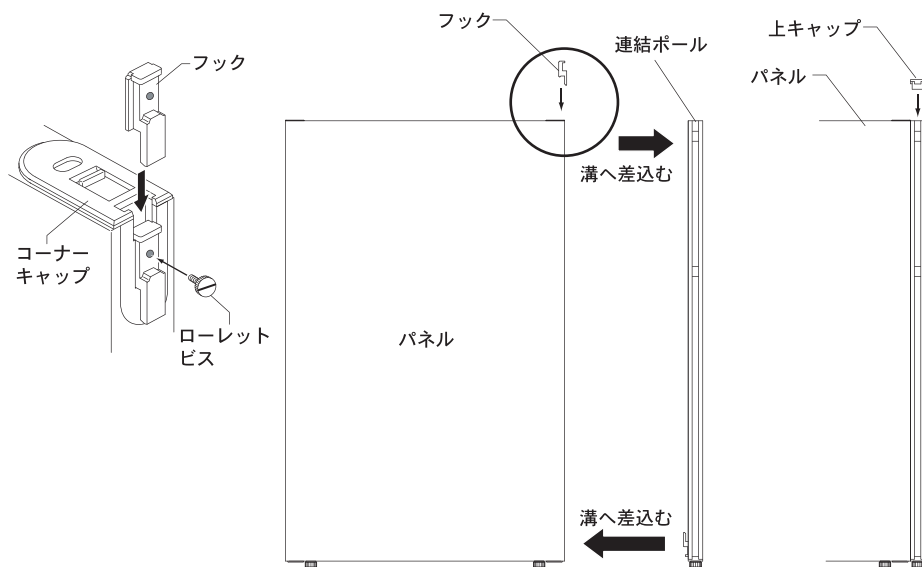
《上面図》



注意

●必ず周囲の安全を確認し、連結ポールを横に倒して作業を行って下さい。連結ポールが転倒しケガをする恐れがあります。

- ③ パネル上のコーナーキャップのフタをスライドして開けた後、溝へフックを入れ、ローレットビスで固定して下さい。
フックを互いの溝に差込んでパネルと連結ポールを連結して下さい。
最後に連結ポールの上キャップを取付、パネル上のコーナーキャップのフタをスライドして閉じて下さい。
●段差連結の場合も連結ポールが必要となります。連結ポールを使って同様の手順で連結作業を行って下さい。

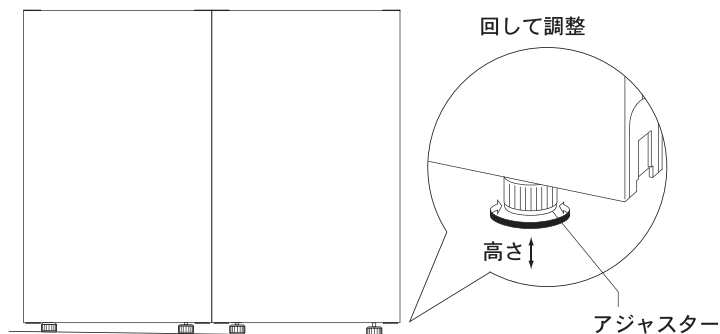


注意

- 必ず作業は2名以上で行い、1名はパネルが転倒しないようしっかり支えて下さい。
- 連結溝へ指を入れないで下さい。ケガをすることがあります。

アジャスターの調整

- パネルを設置した床面が水平でない場合は、パネル下に取付いたアジャスターを回して全体の高さを調整して下さい。



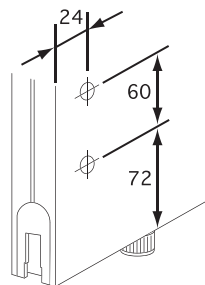
注意

- 全てのアジャスターが床面に接地していることを確認して下さい。パネルが倒れてケガをすることがあります。

補助脚の取付け

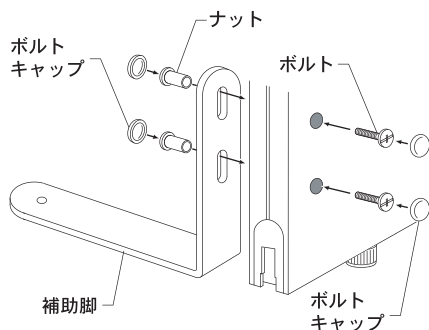
- ① 補助脚取付用の下穴がパネルの図の位置に開いています。クロスをカッター等で穴を開けて下さい。穴位置の目安として赤丸のシールが貼付けてありますが、パネルの設置後ははがして下さい。
(木目パネルはすでに穴が開いています。穴栓をはずして下さい。)

※クロス穴が小さいと付属のナットを入れづらいことがあります。パネルの下穴と同等の大きさに穴を開けて下さい。

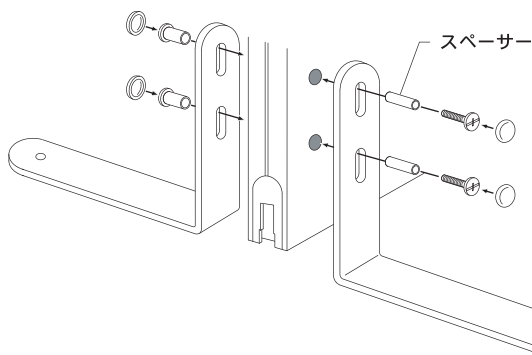


- ② 図の様にボルトを軽く締めてから、改めてボルトを固く締めて固定して下さい。最後にボルトの頭にボルトキャップをかぶせて下さい。

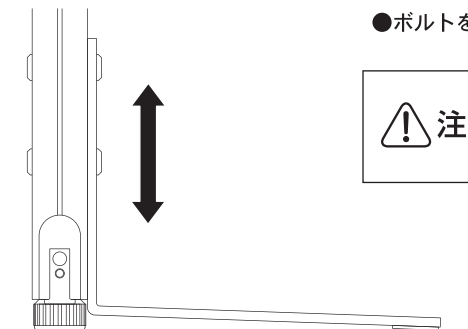
○片側補助脚



○両側補助脚



補助脚の調整



- ボルトを少し緩めてから補助脚の位置を調整して下さい。



注意

- 調整の後は、必ずボルトを固く締めて、確実に固定されているかどうか確認して下さい。パネルが破損したり、倒れたりしてケガをすることがあります。

お手入れについて

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布でから拭きして下さい。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落として下さい。
 1. 薄めた中性洗剤につけた布を固く絞って拭いて下さい。
 2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭いて下さい。
 3. 乾いた柔らかい布で、水分を残さないように拭き取って下さい。

汚れを落とすときの注意

- 水に濡れたままにしておいたり、化学ぞうきんやシンナー等の揮発性のある溶剤の使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。

主な材質

部 位		主 要 材 質
パ ネ ル	構 成 部 材	木質ボード
	張 り 材	クロス・ポリエステル 木目・プリント紙
	キャップ各種・アジャスター	ポリカーボネート・ABS樹脂
	フ ッ ク	亜 鉛
連結ボール	本 体	ア ル ミ
	キャップ各種・アジャスター	ポリカーボネート・ABS樹脂
	フ ッ ク	亜 鉛
補 助 脚	本 体	ス チ ール

株式会社トカイシステム

〒490-1212 愛知県あま市小橋方寺西79
TEL (052) 444-1571 (代)
FAX (052) 444-8544 番